

M & A成約事例報告

『つばさグループ』の総力を結集！
後継者不在の解決とグループ間シナジーの追求！

令和3年3月22日



つばさ税理士法人



TSUBASA
M&A PARTNERS

つばさM&Aパートナーズ

1 企業概要及び売買スキーム

◆譲渡者

商号	A社
本社所在地	新潟県
創業・設立	昭和48年
資本金	300万円
株主	代表取締役／95.0%・取締役／5.0%
事業内容	洋食器製造・機械部品製造・各種切削加工等
直近売上高	1億円～2億円程度
従業員数	20名～25名程度（役員を含む。）
譲渡理由	後継者不在

◆譲受者

氏名・名称	長野グループ（株式会社 長野）
所在地	新潟県
事業内容	鋳物製造・高周波焼入れ・ステンレス製品卸売等
直近売上高	10～15億円程度（グループ全体）
譲受理由	成長戦略・サプライチェーンの強化

◇マルチプル法（EBITDA・Net Cash）に基づく「100%株式譲渡」◇

2 - 1 案件受託のきっかけ（譲渡者：A社）

- ◇ A社の弊社監査担当者から、「A社社長が後継者不在の課題を抱えている」旨、相談あり。
- ◇ A社社長と面談したところ、「後継者候補と考えていた息子に会社を引き継ぐことが難しくなった。また、自社だけでは今後の会社の成長に限界を感じてきている。何か良い方法はないか。」との相談あり。
- ◇ A社は、「砥石加工の技術力に定評があること、また地域の優良会社との取引先を豊富にもっていること」を認識していたことから、A社社長へ、M & Aによる第三者承継の可能性について説明。
- ◇ A社社長と弊社の間でアドバイザリー契約を締結。

2 - 2 案件受託のきっかけ（譲受者：株式会社 長野）

- ◇ 「株式会社 長野」は、2019年にニッパ型爪切りやキャンプ用テント用品のペグ等を取り扱う「高周波焼入れの会社」、2020年には「ステンレス製品卸売の会社」をM&Aするなど、地域では有数のストロングバイヤー。
- ◇ 将来的には、自社グループをさらに強化し、「サプライチェーンの一貫化」を狙う。
- ◇ A社とは、特に2019年に譲受した「高周波焼入れの会社」との相乗効果が図れるのではないかと考え、「株式会社 長野」の和田社長へ、A社の概要を説明。
- ◇ A社と共通の取引先が多かったことや、「株式会社 長野」の将来構想にフィットしていたことから、弊社とアドバイザー契約を締結。

3 案件実行スケジュール

○令和2年

- 1 2月：A社の企業価値評価
- 〃：秘密保持契約締結
- 〃：アドバイザリー契約締結
- 〃：ロングリスト（譲受候補者）提示

○令和3年

- 1月：第1回 トップ面談・工場見学実施（A社にて）
- 〃：第2回 トップ面談・工場見学実施（株式会社 長野にて）
- 2月：売買対象不動産調査
- 〃：バリュエーション協議
- 〃：各種税務チェック・法務チェック等実施
- 〃：M&A全体スキーム構築
- 3月：株式譲渡契約 / 決済・デリバリー

※アドバイザリー契約締結から、3か月間でのスピード成約！

4 本ディールのPOINT

- 会社法の正しい理解と表明保証条項遵守の徹底
- 「つばさグループ」一体となり総力を結集したディール対応。
- キーマンとなるA社工場長との事前面談と雇用条件のすり合わせ
- A社社長個人の会社底地の不動産売買
- 株式変遷に係る疎明確認の徹底
- 金融機関との連携による譲受資金の円滑な確保
- A社と「株式会社 長野」による株式譲渡後の事業発展計画の策定。
- M&Aスキームの多彩なバリエーション協議
- 司法書士等各士業提携先とのクロージング手続き等の円滑化

5 アフターM&A効果

〔 地域社会（譲渡者含む。） 〕

- 後継者不在解決
- 地域雇用のセーフティネット
- 技術者の流失防止
- 取引先の連鎖倒産防止

〔 譲受者 〕

- 商圈及び販路並びに商材の拡大
- 技術者の確保とマシニング・NC施盤等の高付加価値設備の導入
- 経営資源を活かしたサプライチェーンの強化

〔 弊社社会計事務所 〕

- 地域金融機関及び司法書士等各士業との連携強化
- M&Aアドバイザーに係る収益獲得
- 事業承継及び今後の成長戦略に資する補助金申請業務獲得
- 事業計画策定及びMAS監査（経営モニタリングサービス）獲得
- 企業防衛保険など、付随業務獲得 等

6 M & A調印式の様子



7 M&Aの社会性

新潟県燕市の有限会社川俣工作所が同市の長野グループへ株式譲渡、後継者問題解決へ

🕒 2021-03-22 13時間前 📁 下越, 企業, 経済

**3月23日（火）の
にいがた経済新聞に掲載！**



左から、株式会社つばさM&Aパートナーズの山田眞一代表、有限会社川俣工作所の川俣和江氏と川俣眞一代表取締役社長、株式会社長野の和田健次代表取締役社長、つばさM&Aパートナーズの平野洋人取締役

刃物研削加工業の有限会社川俣工作所（新潟県燕市）が22日、後継者問題など解決のため同市の長野グループ（株式会社長野）への株式譲渡契約を結んだ。今後、川俣工作所の代表には長野の和田健

本資料に関するご照会及びお問い合わせ等につきましては、下記『(株)つばさM&Aパートナーズ/つばさ税理士法人』まで、いつでもお気軽にご連絡ください。

※本資料に使用されるテキスト・図表・イラスト等の無断転載はお断りいたします。